令和8年度　特別号

祥豊だより

075-691-2486

児童がなかまとともに活躍する学校づくり

～学校・保護者・地域が同じ目線で児童を認め心つながる学校を目指して～

「心」も「環境」も

京都“I„美しい学校

令和８年９月３０日
京都市立祥豊小学校
校　長　　藤田　尚史

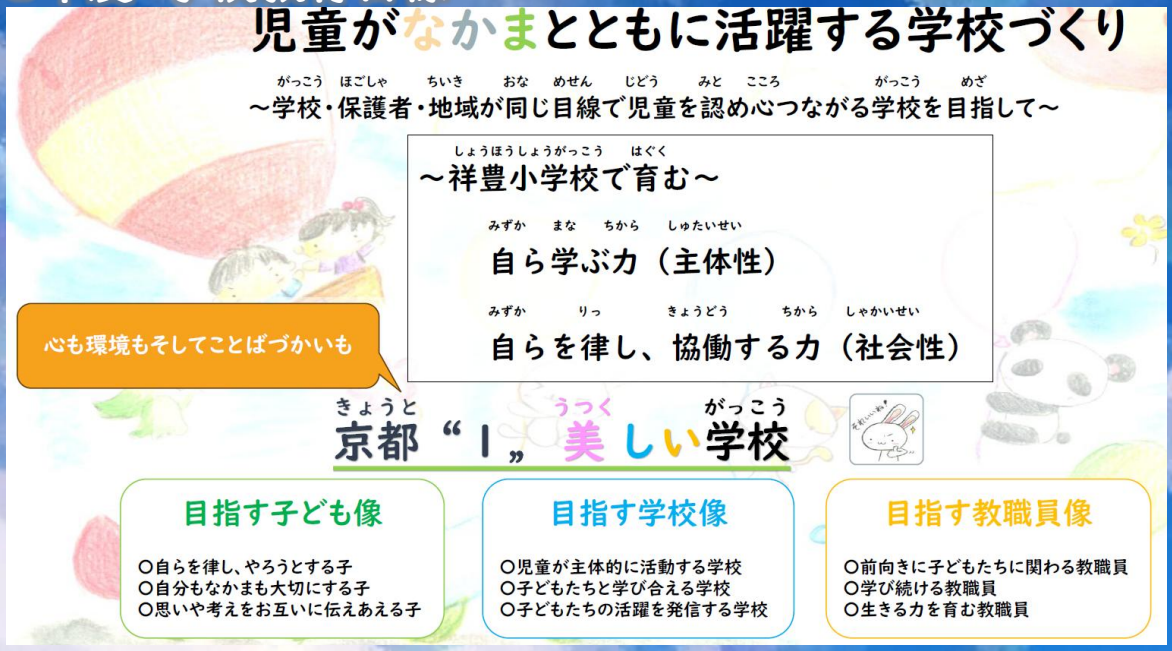
積極的に
配信中♪

平素より、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

７月に実施いたしました令和８年度第１回学校評価アンケートにご回答いただき、心より感謝申し上げます。このたび結果がまとまりましたので、ご報告いたします。

本分析は、「そう思う・だいたいそう思う」と回答した割合と、「あまりそう思わない・そう思わない」と回答した割合を基に行っています。いただいた貴重なご意見を今後の学校経営や教育活動の改善に生かし、よりよい学校づくりに努めてまいります。

令和8年度　学校教育目標



○全体

	児童	そう思う 大体そう思う	あまりそう思わない そう思わない	保護者	そう思う 大体そう思う	あまりそう思わない そう思わない	教職員	そう思う 大体そう思う	あまりそう思わない そう思わない
全体	学校は楽しいですか。	92.2%	7.8%	お子さんは、楽しく学校生活を送っていますか。	96.0%	4.0%	児童が楽しく取り組み、達成感をもてる活動を意図的に行っていますか。	95.7%	4.3%

「学校は楽しいですか」の項目では、児童・保護者・教職員のいずれも 90%を超える高い肯定的評価となりました。児童の多くが学校生活に楽しさや充実感を感じており、保護者や教職員もその成長や様子を前向きに捉えていることがうかがえます。

一方で、一部の児童は学校生活に不安や困り感を抱えていることも考えられます。すべての児童が安心して学校生活を送れるよう、一人一人の思いに寄り添った支援が大切です。

今後も、子どもたちが楽しさや達成感を味わえる授業や活動の充実を図るとともに、一人一人の頑張りや成長を認める関わりを大切にしていきます。また、児童の小さな変化にも丁寧に目を向け、安心して学び、成長できる学校づくりを進めてまいります。

○自らを律し、やろうとする子

	児童	そう思う 大体そう思う	あまりそう思わない そう思わない	保護者	そう思う 大体そう思う	あまりそう思わない そう思わない	教職員	そう思う 大体そう思う	あまりそう思わない そう思わない
自らを律し、やろうとする子	授業はよく分かりますか。	95.0%	5.0%	お子さんは、授業がよく分かると言っていますか。	84.7%	15.3%	めあてと振り返りを明確に対応させたり、板書や支援を工夫したりする等、わかりやすい授業を行うための取組をしていますか。	100.0%	0.0%
	授業では、先生や友達の話や考えを最後まで聞くことができていますか。	93.6%	6.4%	ご家庭で、授業中、先生や友達の話をよく聞くように声掛けをされていますか。	93.1%	6.9%	授業中、先生や友達の話や意見を最後まで聞くように指導していますか。	100.0%	0.0%
	毎日、自分から進んで宿題や家庭学習をしていますか。	87.4%	12.6%	ご家庭で宿題や家庭学習が定着するように働きかけをされていますか。	92.6%	7.4%	宿題や家庭学習の習慣が定着するように働きかけていますか。	95.7%	4.3%
	自分から進んで「おはよう」「さようなら」「ありがとう」などのあいさつをしていますか。	88.5%	11.5%	ご家庭で、お子さんが進んで挨拶ができるように声掛けをされていますか。	95.0%	5.0%	子どもたちが進んで挨拶をするように働きかけていますか。(笑顔で・伝わる声の大きさで・顔を見て等)	100.0%	0.0%
	学校でも家でも、よく本を読んでいますか。	66.9%	33.1%	ご家庭で、お子さんが読書をするような環境づくりをされていますか。	45.0%	55.0%	読書の習慣が定着するように働きかけていますか。	87.0%	13.0%
	運動や外遊びをしていますか。	80.1%	19.9%	ご家庭で、お子さんが適度に運動や外遊びをするように働きかけをされてますか。	87.1%	12.9%	適度に運動や外遊びをするように働きかけていますか。	100.0%	0.0%

「授業が分かる」「話を最後まで聞く」「家庭学習に取り組む」「あいさつをする」などの項目では、児童・保護者ともに高い肯定的評価が見られました。子どもたちが意欲的に学習や学校生活に取り組み、基本的な生活習慣や学習習慣が身に付いてきていることがうかがえます。

一方で、「読書をしている」「運動や外遊びをしている」の項目は他の項目と比べて肯定的評価がやや低く、特に読書習慣については課題が見られました。子どもたちの豊かな学びや健やかな成長のためには、学校だけでなく家庭とも連携しながら継続的に取り組んでいくことが大切です。

今後も、子どもたちが「分かった」「できた」を実感できる授業づくりを進めるとともに、自ら考え行動する力を育んでいきます。また、家庭学習や読書、運動習慣の定着に向けて、学校と家庭が連携しながら継続的に働きかけを行い、子どもたちの主体的な学びを支えていきます。

○自分もなかまも大切にする子

	児童	そう思う 大体そう思う	あまりそう思わない そう思わない	保護者	そう思う 大体そう思う	あまりそう思わない そう思わない	教職員	そう思う 大体そう思う	あまりそう思わない そう思わない
自分もなかまも大切にする子	学校や学級のきまりを守ることができていますか。	94.7%	5.3%	ご家庭で、お子さんに学校のきまりや家での約束を守るような話をされていますか。	98.0%	2.0%	学校や学級のきまりを守るように繰り返し指導をしていますか。	100.0%	0.0%
	友だちや周りの人を大切にしていますか。	97.8%	2.2%	ご家庭で、お子さんに、友だちや周りの人を大切にするような働きかけをされていますか。	99.5%	0.5%	いつも児童の人間関係に気を付け、児童理解に努めていますか。	100.0%	0.0%
	あなたは、友だちや周りの人から大切にされていますか。	93.6%	6.4%	お子さんは、友だちや周りの人から大切にされていますか。	99.0%	1.0%	互いに認め合うことのできる学級(学年)づくりを行っていますか。	100.0%	0.0%
	自分のよいところや得意なところをのばそうとしていますか。	95.5%	4.5%	お子さんが自分のよいところや得意なところを伸ばせるように励ましていますか。	98.0%	2.0%	児童が、自分のよいところや得意なところを伸ばせるように励ましていますか。	100.0%	0.0%
	安全に気をつけて遊んだり、登下校をしたりしていますか。	98.6%	1.4%	ご家庭で、お子さんに安全に気をつけて遊んだり、登下校したりできるように声掛けをされていますか。	99.5%	0.5%	安全に気をつけて遊んだり、登下校したりするように指導を徹底していますか。	100.0%	0.0%
	スマートフォンやタブレットなどを使うときのルールや約束を守っていますか。	95.8%	4.2%	ご家庭では、スマートフォンやタブレット等の情報端末を使う際のルールを定め、お子さんは守ることができていますか。	77.7%	22.3%	児童や教職員が、GIGA端末を使用する際に、情報モラルやデジタルシチズンシップ教育を意識していますか。	95.7%	4.3%

「学校や学級のきまりを守る」「友達や周りの人を大切にする」「自分のよさを伸ばそうとしている」「安全に生活している」などの項目では、児童・保護者ともに非常に高い肯定的評価となりました。子どもたちの規範意識や思いやりの心、安全意識が育まれていることがうかがえます。また、自分や友達を大切にする態度や、自分のよさを生かそうとする意識も高く、安心して過ごせる学校づくりが進んでいると考えられます。

一方で、情報端末のルールについては、家庭でのルールづくりや継続的な見守りの必要性も見られました。子どもたちを取り巻く情報環境が変化する中で、学校と家庭が連携して情報モラルを育てていくことが大切です。

今後も、自分や相手を大切にする心を育む教育活動を継続するとともに、互いのよさを認め合える学級づくりを進めていきます。また、安全な生活や情報端末の適切な利用についても、学校と家庭が連携しながら指導を続け、子どもたちが安心して生活できる環境づくりに努めてまいります。

○思いや考えをお互いに伝え合える子

	児童	そう思う 大体そう思う	あまりそう思わない そう思わない	保護者	そう思う 大体そう思う	あまりそう思わない そう思わない	教職員	そう思う 大体そう思う	あまりそう思わない そう思わない
思いや考えをお互いに伝え合える子	授業では、自分の思いや考えを伝えていますか。	88.8%	11.2%	お子さんが、授業中、自分の思いや考えを伝えていると思われますか。	68.8%	31.2%	児童が授業で、自分の思いや考えを伝えることができるように工夫していますか。	100.0%	0.0%

「授業では、自分の思いや考えを伝えていますか」の項目では、児童の肯定的評価は 88.8%と高い結果でした。一方で、保護者の肯定的評価は 68.8%であり、児童自身の実感と保護者の受け止め方に差が見られました。児童は授業の中で自分の考えを伝える機会をもっていますが、その様子が家庭には見えにくいことも一因として考えられます。

また、自分の考えを伝える力は、一人一台端末を活用した学習や対話的な学びの中で、今後さらに育てていきたい力の一つです。引き続き、自分の考えを表現したり、友達の考えを受け止めたりする経験を積み重ねることが大切であると考えます。

今後も、授業の中で自分の考えを表現したり、友達と考えを交流したりする活動を充実させていきます。また、一人一人が安心して発言できる学級づくりを進めるとともに、子どもたちの学びの様子を家庭にも伝えながら、表現する力や伝え合う力の育成に取り組んでまいります。

○児童が主体的に活動する学校・子どもたちと学び合える学校・積極的に発信する学校

	児童	そう思う 大体そう思う	あまりそう思わない そう思わない	保護者	そう思う 大体そう思う	あまりそう思わない そう思わない	教職員	そう思う 大体そう思う	あまりそう思わない そう思わない
児童が主体的に活動する学校	学校や家で自分の役割（委員会活動や当番活動）やお手伝いをしっかりとしていますか。	92.7%	7.3%	お子さんに家の役割（手伝い）を決め、実行させていますか。	62.0%	38.0%	当番活動や係活動などの意義を知らせ、児童が責任をもってやりきるようにしていますか。	100.0%	0.0%
	学校や家での生活をよりよくするために、係活動や委員会活動を自分から進んでしていますか。	91.6%	8.4%				児童が主体的に活動できるように、係活動や委員会活動などを意図的に工夫していますか。	95.7%	4.3%
子どもたちと学び合える学校	「早寝・早起き・朝ごはん」など、規則正しい生活ができていますか。	86.8%	13.2%	お子さんに「早寝・早起き・朝ごはん」などの基本的な生活習慣が身に付くような働きかけをされていますか。	92.6%	7.4%	児童の生活習慣を向上させる取組ができていますか。	100.0%	0.0%
	学習の準備や整理整頓ができていますか。	85.7%	14.3%	ご家庭で、お子さんがじっくり学習できる環境を整えたり、学習の準備や整理整頓ができるように声掛けをされたりしていますか。	86.6%	13.4%	学習の準備や整理整頓ができるように指導したり、自ら整理整頓をして学習環境を整えたりしていますか。	100.0%	0.0%
積極的に発信する学校				学校は、ホームページや学校だより、学年・学級のおたよりなどでいろいろな取組を保護者の方に伝えていますか。	94.6%	5.4%	ホームページやおたよりなどで学級や学年・学校の様子を積極的に伝えていますか。	73.9%	26.1%
	家で学校や学年、学級のことについてよく話をしますか。	79.3%	20.7%	お子さんと学校や学年、学級のことについてよく話をされていますか。	87.6%	12.4%	一人一人の学年・学級での様子や出来事についてしっかりと家庭に伝えていますか。	100.0%	0.0%

係活動や委員会活動、家庭での役割、基本的な生活習慣などの項目では、児童については概ね高い肯定的評価が見られました。学校や家庭で役割を果たそうとする意識や、規則正しい生活を送ろうとする態度が育まれていることがうかがえます。特に、係活動や委員会活動への取組からは、学校生活をよりよくしようとする児童の主体性が見られました。

一方で、「家での手伝い」や「学校の様子の発信」に関する項目では、他の項目と比べて保護者の評価がやや低い結果となりました。家庭での役割を継続して担うことや、学校の取組や子どもたちの様子を保護者へ十分に伝えることについては、さらなる工夫が必要であると考えられます。

今後も、係活動や委員会活動などを通して、子どもたちが主体的に考え、行動する機会を充実させていきます。また、基本的な生活習慣や家庭での役割の定着に向けて、家庭との連携を大切にしていきたいと考えています。さらに、学校だよりやホームページ、各種配信ツール等を活用しながら、学校の取組や子どもたちの成長の様子をより分かりやすく発信してまいります。

○前向きに子どもたちに関わる教職員・学び続ける教職員・生きる力を育む教職員

	児童	そう思う 大体そう思う	あまりそう思わない そう思わない	保護者	そう思う 大体そう思う	あまりそう思わない そう思わない	教職員	そう思う 大体そう思う	あまりそう思わない そう思わない
前向きに子どもたちに関わる教職員	先生や学校にいる大人は、あなたに関わってくれていますか。	96.6%	3.4%	学年担任をはじめとする教職員は、お子さんに丁寧に関わっていると感じられますか。	94.1%	5.9%	一人一人の児童に丁寧に関わっていますか。	100.0%	0.0%
	先生や学校にいる大人は、あなたのがんばりを認めてくれていると感じていますか。	94.1%	5.9%	学年担任をはじめとする教職員は、お子さんのがんばりを認めてくれていると感じられますか。	95.0%	5.0%	一人一人の児童のがんばりを認めていますか。	100.0%	0.0%
学び続ける教職員 生きる力を育む教職員				学校は、よりよい祥豊小になるよう、多様性を認め、様々な取組に臨んでいたり、改善に努めたりしていると感じられますか？	94.6%	5.4%	よりよい祥豊小になるよう、多様性を認め、様々な取組に臨んだり、改善に努めたりしていますか。	100.0%	0.0%
				学校は、家庭や地域と連携して、「地域ぐるみ」の教育を推進していますか。	91.1%	8.9%	家庭や地域と連携して、積極的に「地域ぐるみ」の教育を推進していますか。	100.0%	0.0%

「先生や学校にいる大人は関わってくれている」「頑張りを認めてくれている」の項目では、児童・保護者ともに高い肯定的評価となりました。児童一人一人への丁寧な関わりや励まし、認める指導が、子どもたちの安心感や意欲につながっていることがうかがえます。また、「よりよい祥豊小になるよう改善に努めている」「家庭や地域と連携した教育を推進している」の項目についても高い評価が見られました。学校の取組や教職員の姿勢について、一定の理解と信頼を得られていると考えられます。

一方で、保護者自由記述の中には、情報発信や教職員の対応に関するご意見も見られました。アンケート結果だけでなく、一つ一つの声を大切に受け止めながら、より信頼される学校づくりを進めていくことが必要です。

今後も、児童一人一人の頑張りや成長を積極的に認め、安心して挑戦できる環境づくりに努めてまいります。また、教職員自身も学び続けながら教育活動の改善を図るとともに、家庭や地域との連携を一層深め、子どもたちの健やかな成長を支える学校づくりを進めてまいります。

○保護者自由記述より（要約）

保護者の皆様から、多くのご意見や温かい励ましのお言葉をいただきました。ご協力ありがとうございました。

【主なご意見】

・・・<学校・教職員の関わりについて>・・・

○子ども一人一人をよく見守り、丁寧に関わっていることへの感謝の声を多くいただきました。
○子どもの頑張りを認め、励ましてもらうことで自信や意欲につながっているというご意見がありました。
○一方で、一部の教職員の言葉遣いや対応の仕方について、より丁寧な関わりを望むご意見もありました。

・・・<学習や学校生活について>・・

○子どもが楽しく学校に通い、友達との関わりや学習に前向きに取り組んでいる様子がうかがえるとの声がありました。
○学校での様子や学習の理解状況、友人関係について、保護者としてさらに知りたいというご意見もありました。
○校外学習や体験活動、図書環境の充実などを望む声がありました。

・・・<情報発信・連携について>・・

○学校だよりや週予定などの情報発信が学校の様子を知る機会となり、役立っているとのご意見がありました。
○一方で、学校からのお知らせや子どもの様子について、より分かりやすく速やかな情報共有を望むご意見もありました。
○配付文書や予定表等の正確性について改善を求める声がありました。

・・・<学校運営について>・・・

○学年担任制や教育活動の取組について、評価するご意見とともに、取組の目的や効果についてさらに知りたいというご意見がありました。
○4時間授業の日程や学校運営の在り方について、ご意見・ご要望をいただきました。

・・・<子どもたちの成長について>・・

○上級生としての責任感や自主性が育っている様子、学年の成長や落ち着きを感じるという声が寄せられました。
○挨拶やコミュニケーションなど、今後さらに伸ばしてほしい力についてのご意見もありました。

○学校運営協議会の皆様より　～その一部をご紹介します～

読書習慣の定着について

読書習慣については継続的な課題として挙げられました。子どもたちが本を読む楽しさやよさを実感できる工夫を続けるとともに、図書館環境の充実や本を大切にする心を育ててほしいというご意見をいただきました。

運動習慣と自己肯定感について

運動が得意な子も苦手な子も、自分の成長や達成感を感じられる機会を大切にしてほしいというご意見がありました。運動を通して自信や意欲を育てることの大切さが話題となりました。

子ども一人一人への支援について

子どもたち一人一人の個性やペースを大切にしながら支援していくことが重要であるとのご意見をいただきました。また、学校生活に不安を感じている児童にも引き続き目を向けてほしいとの声がありました。

認め合うことの大切さについて

自己肯定感は学校だけでなく、家庭や地域、友達との関わりの中でも育まれるとのご意見がありました。子どもたち一人一人が活躍できる場をつくり、周囲から認められる経験を積み重ねることが大切であるとの声をいただきました。

学校・家庭・地域の連携について

学校での学びや子どもたちの様子を、今後も分かりやすく発信してほしいとのご意見をいただきました。また、保護者や地域の方が学校に関わる機会を増やすことで、学校への理解や連携が深まるのではないかとのご提案もありました。

地域ぐるみの子育てについて

学校だけでなく、家庭や地域、関係機関が連携して子どもたちを支えていくことが大切であるとのご意見をいただきました。これからも地域ぐるみで子どもたちの成長を見守っていきたいという声が寄せられました。

○まとめ（学校評価アンケート全体について）

今回の学校評価アンケートでは、児童・保護者・教職員それぞれの立場から多くのご意見をいただきました。全体として、「学校は楽しい」「先生が関わってくれる」「友達を大切にしている」などの項目で高い評価が見られ、子どもたちが安心して学校生活を送りながら成長している様子がうかがえました。

また、保護者の皆様からは、子どもたちが楽しく学校生活を送っていることや、教職員の支援に対する温かい励ましや感謝の言葉を数多くいただきました。一方で、学校からの情報発信の在り方や教育活動の進め方などについて、貴重なご意見やご要望も寄せられました。

アンケート結果からは、これまでの取組の成果が見られる一方で、読書習慣の定着や家庭での役割、情報発信の充実など、今後さらに改善・充実を図るべき課題も明らかになりました。さらに、学校運営協議会委員の皆様からも、学校の取組や子どもたちの成長を評価していただくとともに、家庭や地域との連携を一層深めながら教育活動を進めていくことの大切さについてご意見をいただきました。

本校では、今回いただいた評価やご意見を真摯に受け止め、「やってみる子」「自分も相手も大切にする子」「思いや考えを伝え合う子」の育成に向けて教育活動の充実に努めてまいります。今後も、学校・家庭・地域が連携しながら、一人一人の子どもに寄り添い、安心して学び、挑戦し、成長できる学校づくりを進めてまいります。引き続き、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。